





## 明智光秀コース

明智駅 - 花フェスタ記念公園 - 顔戸駅

所要時間  
約1時間30分  
滞在時間は含みません

ウォーキング  
コース全長 ▶ 6.5km

- 明智駅 AKECHI
- 16分 (1.3km)
- 1 明智城跡大手門
- 10分 (山道0.5km)
- 2 明智城跡本丸跡
- 10分 (山道0.5km)
- 1 明智城跡大手門
- 3分 (0.2km)
- 3 天龍寺
- 14分 (1.1km)
- 4 麒麟がくる ぎふ可見 大河ドラマ館
- 5 花フェスタ記念公園
- 25分 (2.0km)
- 6 道の駅 可見ッテ
- 11分 (0.9km)
- 顔戸駅 GOUDO



## 明智光秀ゆかりの地

# 明智荘

あけちのしょう

明智光秀の出自については諸説がありますが、通説では土岐氏の流れをくむ「土岐明智氏」の一族であるといわれています。土岐明智氏発祥の地とされる可見郡の明智荘は、現在の可見市北東部から御嵩町西部にかけて存在した荘園です。

明智光秀の生まれた時代に土岐明智氏が明智荘一円に勢力を誇っていたという確実な史料は見つかっていませんが、『美濃国諸旧記』では初代の土岐頼兼より光秀に至るまで、代々可見郡の明智荘に土岐明智氏が住んだとしています。



顔戸城址

顔戸城は、室町時代初期、土岐氏の守護代斎藤氏の構築になるとされ、城といっても居館と考えられています。城は東西約180m、南北約150mの規模で全体が台形状を呈しており、外周は、敵の侵入を防ぐ深い堀と高い土塁がめぐらされています。平地部の城館としては、規模が格段に大きく、土塁や堀は良好に残っている大変貴重な平城であり、明智荘唯一ともいわれています。城主とされる斎藤妙庵は、土岐氏の守護代であった兄の斎藤利永が亡くなる前後から段野へと移り出し、志仁の乱(1467)では、妙庵の動向は、中央(京都)をもゆるがすと言われるほどの存在であったと伝えられています。



## 森乱丸コース

明智駅 - 兼山エリア

所要時間  
約1時間40分  
滞在時間は含みません

ウォーキング  
コース全長 ▶ 3.9km

- 明智駅 AKECHI
- YAOバス(有料)13分
- 元兼山役場前バス停
- 2分 (0.1km)
- 1 可見市観光交流館
- 24分 (1.5km)
- 2 可見市戦国山城ミュージアム
- 17分 (0.9km)
- 3 蘭丸ふるりの森
- 22分 (1.1km)
- 5 常照寺
- 3分 (0.2km)
- 6 可成寺
- 1分 (0.1km)
- 城戸坂バス停
- YAOバス(有料)13分
- 明智駅 AKECHI



## 可見才蔵コース

御嵩駅周辺エリア

所要時間  
約1時間10分  
滞在時間は含みません

ウォーキング  
コース全長 ▶ 5.3km

- 御嵩駅 NITAKE
- 11分 (0.8km)
- 1 慈溪寺
- 11分 (0.8km)
- 2 大寺山願興寺
- 1分 (0.1km)
- 3 御嶽宿わいわい館
- 2分 (0.2km)
- 4 中山道みたけ館
- 1分 (0.1km)
- 5 御嶽宿本陣跡
- 1分 (0.1km)
- 6 商家竹屋
- 25分 (1.7km)
- 7 御嵩城址公園
- 17分 (1.5km)
- 御嵩駅 NITAKE

